

小野地区

No.	分野	地区別	質問・意見・要望等	議員と語ろう井戸端会議当日の議員回答内容	後日担当課回答	担当委員会
1	地域交通	小野	地域公共公共交通について。山口県から益田市街地方面へのバスに乗る人は100円、飯浦から乗る我々は480円、これは萩市が助成しているから可能なのか。	萩市の高齢者支援課が担当課でやっている。防長、中国JRバスが対象。それは議会としても課題とし、提言、提案等検討していかねばならないと感じている。		総務文教
2	地域交通	小野	高齢化が進む中で、高齢者の病院や買物の際の交通手段の問題がある。バスなどの公共交通機関の維持も大切であるが、タクシー利用への補助なども検討して貰えないか。週一回、月一回でもいい、タクシーの半額補助など、片道利用分だけでも良いので考えて貰えないか。	地域公共交通の問題については、バスなどの公共交通機関への補助などにより対応してきている。個別のタクシー利用については障がい者への支援しか行っていない。議会としても意見を受け止めて、議員間で共有し今後の活動に活かしていく。また、執行部へ意見として伝える。	地域公共交通に対するニーズは多様化しており、各地区の实情により求められる役割も様々なものとなっている。市としては、現在「生活交通の改善に向けた調査業務」を専門知識を有する業者へ委託しているが、まずは、この調査結果によりニーズを把握し、乗合タクシー、過疎バスを中心に利便性の向上を図っていきたくと考えている。	総務文教
3	地域振興	小野	少子高齢化が進行するなかで、今後の10年以内に小野地区は地域共同体として維持が不可能になるのではないかと。保育所の幼児は5人以下、小学校は10人以下になるのに、本当に存続できるのか。地区の運動会や、神社の祭りも出来なくなり、地域の人のつながりが無くなってしまふ。漁港についても、利用する漁師がいなくなってしまうが、維持してもらえるのか心配である。そういった実情に対して、議会はどうか認識しているのか。また、市にも小野の現状を認識した上で、今後の方針をはっきりと打ち出して欲しい。現時点では、色んな地域課題への対応が地域自治組織に丸投げになっている。	少子高齢化という大きな問題として、小野地区だけでなく全地域が同じ悩みを抱えている。1ターンの増やすための定住促進事業などの新規事業や取組を広範に行いながら対処しているところであり、議会としても色んな場面で意見を述べている。議会も意見として重く受け止めて、議員間で共有し今後の活動に活かしていく。執行部に対しては、こういう不安の声があり、その方針を早いうちに打ち出して貰いたいという要望として伝える。	ご意見のとおり、少子高齢化は、益田市内全地域で同じ悩みを抱えている問題だと認識している。行政としても、各地区の現状を把握し、地域のあり方を模索し、今後中山間地域振興基本計画の策定中で、方針については示していきたいと考えている。	総務文教
4	定住・U1ターナー	小野	小野には船唄別荘など空き家が増えている。空き家バンク事業はどのようにしているか。また、1ターナー促進施策を充実させて、空き家が減るように努力してもらいたい。	空き家バンク事業は継続して行われている。貴重な意見として受け止めて、議会、執行部で共有する。	空き家バンクの事業は実施しており、昨年度は14件が成約につながっている。広報ますだやお知らせ放送、窓口用封筒等を活用して制度の周知は行っている。U1ターナー者が空き家バンクの物件を購入される場合は、空き家のリフォームに対する補助制度を実施している。	総務文教
5	定住・U1ターナー	小野	定住対策について。県外市外からの定住促進に力を入れているが、地元の若者が外に出ていなくても生活できる施策が必要ではないか。若者は、便利な方、賃金が高い方へ流れていく。U1ターナー者への補助制度があることは承知しているが、2世帯3世帯が居住するための住宅リフォーム補助金の創設を提案する。子育ての際頼れる親が近くにいる、親にとっても買い物や通院の問題が解決できる等メリットがある。	ファクトリーパークが4割埋まっている。補助制度の創設はなかなか財政的に厳しい状況と思われる。要望としては執行部へ伝える。	令和6年度は益田市への定着を図ることを目的とし、益田市内の事業所に就業した新規学卒者に対して、「まずは暮らし定着支援事業助成金」制度を実施している。ご承知のとおり、U1ターナーの方が空き家バンクの物件を購入された場合には、該当物件の改修補助制度がある。2世帯3世帯居住に限定したものではないが、物件所有者の希望に応じて活用いただけるものである。	総務文教
6	学校教育	小野	小中学校のエアコンについて。普通の教室には設置されているが、音楽室等の特別教室や体育館には未設置である。早急に設置して欲しい。	執行部へ要望として伝える。	特別教室のエアコンは頻繁に活用する必要性の高い特別教室へ設置してきた。残る教室は児童生徒数や活用頻度等学校の状況を把握しながら、その他の施設整備も併せて検討する。	総務文教
7	学校教育	小野	戸田小、小野中同一校舎での運営について。4月スタート時点で保育所園児12名、小学校41名、中学校28名。中学校の統廃合は積極的に統合というわけではなく結論としてやむを得ないから。公民館単位の20か所に小中学校はないといけなくと主張してきたが、若い世代に受け入れられなかった。結果として小中学校を一緒に運営することに承諾した。	匹見においても小中学校が一緒になっている。子どもたちが耐震化された安全な建物で学習できる環境を整備できていると思っている。中学は大事な成長期、大人数で切磋琢磨していくことが必要と聞いている。		総務文教
8	学校教育	小野	戸田小学校校舎の後利用について、具体的に何か決まっているか。	現時点では具体的利用について示していない。様々な状況にある子どもたちのための教育に関わる施設としての活用を検討しており、方向性が定まった時点で地域にも示す予定と聞いている。		総務文教
9	環境衛生	小野	年2回、河川掃除を行っている。その際にも気になっているのだが、喜阿弥〜空港間の道路が清掃管理されていない。地域住民で行おうという意見もあるのだが、その際に発生するゴミや雑草などの廃棄をどうすればいいのかわからなくて困っている。どうすればいいか教えてもらいたい。	質問として執行部へ伝えて回答を出してもらい、後日公民館宛に伝える。	道路の清掃管理については道路管理者へお問い合わせいただきたい。環境衛生課では、自治会等で行う清掃活動に対して、ボランティアごみ袋を配布しており、回収についても行っている。除草された草についてボランティア袋に入れていただければ回収する。	福祉環境
10	農林水産	小野	働く場所の確保について、商業、工業のみならず農林水産業も視野にいれるべき。農業で食べていける仕組みづくりが必要、個人の努力ではどうしようもない。政府が価格補償をしなければこのままでは農業は成り立っていかない。	農林業関係の補助制度は、他分野と比較すると少なくないと思われる。本日の声を議員間で共有する。		経済建設
11	農林水産	小野	有害鳥獣対策について。サルはしょっちゅう出る、最近は鹿も出るようになった。若い者は趣味でわなで捕まえているが、殺すことはできない。	地域自治組織が小野にもある。ただ、銃の狩猟免許を持っている人に関しては、くくりわなの狩猟免許を持っている人より少なく、地域に担い手がない現状を認識している。		経済建設
12	観光	小野	恵比須神社など小野地区の魅力を発信してもらってはいるが、いざ現地に来てもらってもトイレも整備されていない状況である。PRと同時に観光地としてのブラッシュアップを行ってもらいたい。	執行部へ要望として伝える。	(一社)ますだプライドクリエーション(地域DMO)を主体に、今後、地域の魅力向上に資する観光資源の磨き上げや、受け入れ環境の整備の必要性等について検討される予定。	経済建設
13	土木	小野	飯浦の市道について、すでに土木課に要望してあることであるが、危険箇所カーブミラーの設置、道路上の「ゆっくり」という表示について早急に行ってもらいたい。予算はおさえられているので年度内には完了するという回答は執行部から貰っているが、いつになるか不安であるし、何より危険である。	執行部へ緊急要望として伝えて、速やかに回答するよう伝える。	道路交通法により自動車を運転する場合には道路の状況に応じた安全運転義務が課されている。カーブミラーや路面標示については、あくまで道路利用者の安全な通行を補助したり、注意喚起を行うものであるため、緊急度は高くはないと思われる。緊急工事については道路の陥没等、道路利用者に直接、危害を及ぼすものを優先して実施している。危険性が高いということだが、そもそも道路交通法に違反している可能性があるため警察署へ相談を行う。交通安全に関する限られた予算を有効に利用するため、カーブミラーや区画線等については、市内各地でご要望いただいた箇所をとりまとめて工事発注を行っている。ご要望承っても時間を要することを予めご了承いただきたい。	経済建設